

21世紀の民俗学

～日本人の普遍性を見つめて～

「民俗学」と聞いて思い浮かべるのは、妖怪、祭り、伝説、しきたりといった「古さ」でしょうか。民俗学者の畑中氏は、ネットやソーシャルゲームなど近年の「流行」にも、現代の民俗学が取り組むテーマがあるとして、「21世紀の民俗学」を提唱しています。

日常生活を送る中で、また災害に向き合った際に、日本人はどのような感情を抱いてきたのか、21世紀の民俗学という視点から学びます。

講師

作家・編集者
民俗学者

畑中 章宏 氏

大阪市生まれ。近畿大学法学部卒業。平凡社の編集者として、『月刊太陽』や『荒木経惟写真全集』などの編集にたずさわり、その後フリーランスとなる。多摩美術大学芸術学部、日本大学芸術学部講師。著書に、『柳田国男と今和次郎』<平凡社>『災害と妖怪』<亜紀書房>、『ごん狐はなぜ撃ち殺されたのか』『蚕-絹糸を吐く虫と日本人』<晶文社>など多数。



9月11日(日)

午後2時～3時30分

【場 所】 ハートフルスクエア-G 2階
大研修室

【定 員】 100名 (応募者多数の場合は抽選)

【受講料】 300円

＊応募方法

往復ハガキ(1枚につき1人)に ①講座名 ②〒・住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 を記入して、8月28日(日)(必着)で下記へお申し込みください。

直接申し込みの場合は、返信用のハガキをお持ちください。

※ご記入いただいた個人情報は、講座の運営のためのみに使用し、適正な管理に努めます。

＊申し込み・問い合わせ先

岐阜市生涯学習センター 生涯学習係

〒500-8521 岐阜市橋本町1-10-23 ハートフルスクエア-G内

TEL: 058-268-1050 / FAX: 058-268-1057